



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西山 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部 部長

(氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	112,336	△1.9	4,215	38.2	4,490	40.0	2,880	40.6
27年9月期第3四半期	114,552	10.2	3,051	△9.0	3,207	△5.0	2,048	0.8

(注)包括利益 28年9月期第3四半期 2,140百万円 (△48.0%) 27年9月期第3四半期 4,118百万円 (87.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	55.66	48.72
27年9月期第3四半期	39.59	34.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	127,959	63,430	48.9	1,208.35
27年9月期	118,901	62,322	51.6	1,185.23

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 62,542百万円 27年9月期 61,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年9月期	—	10.00	—		
28年9月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	3.4	5,000	29.1	5,000	23.8	3,100	23.1	59.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	52,454,125 株	27年9月期	52,450,969 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	695,749 株	27年9月期	705,288 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	51,752,148 株	27年9月期3Q	51,745,999 株
----------	--------------	----------	--------------

当第3四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式362,300株を自己株式に含めています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年6月30日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気はゆるやかな回復基調で推移しました。しかしながら中国経済の減速や新興国経済の下振れリスク、更に英国のEU離脱決定による急激な為替の変動など、世界経済には不透明感が漂い、今後の国内景気への影響が懸念されています。

また、当社グループが係わる食品関連業界では、原材料価格の高騰などに伴う価格改定が一段落して収益面の改善が進みましたが、個人消費については依然として力強さに欠けた状態が続いています。

このような状況のもと当社グループは、平成26年10月にスタートさせました第五次中期経営計画「Flap The Wings 2017」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「“COOL”ネットワークのリーディングカンパニー」を目指し、食品販売事業では「安定的な利益追求を基本としながらも、強みのある商材を全社的に展開する」ことを命題として、事業運営方針の各施策に注力しております。

冷蔵倉庫事業は、当期初から畜産品や冷凍食品を中心に好調な荷動きが続き、計画通りに推移しました。食品販売事業は、一部の畜産品が相場下落により損失を計上しましたが、適正な在庫水準と回転率を重視した堅実な販売に取り組んだこと、および連結子会社㈱アライアンスシーフーズの海外事業も軌道に乗ってきたことなどにより、全体的に収益は回復基調となっております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高112,336百万円(前期比1.9%減)、営業利益4,215百万円(前期比38.2%増)、経常利益4,490百万円(前期比40.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,880百万円(前期比40.6%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間は、平成26年9月期から順次稼働した4つの物流センターのフル稼働や、中期経営計画の各主要施策に基づく戦略的な広域営業の進展や、当社のリソースを最大限に活用した提案型営業の展開により、売上高を順調に増加させて増収増益となりました。また、電力費などの経費削減による効果も増益に貢献いたしました。

貨物取扱量の状況は、入庫取扱量は約39千トンの増加(前期比4.4%増)、出庫取扱量は約58千トンの増加(前期比6.3%増)、平均保管在庫量は約203千トンの増加(前期比8.4%増)となりました。

また、タイ王国の連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD.においては、民政化移行のスケジュールの遅延により経済がやや停滞していること、および為替換算においてタイバーツが大きく下落したことなどにより減収減益となりました。しかし、地元のコールドチェーンニーズは引き続き根強いものがあります。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は18,701百万円(前期比4.0%増)、営業利益は4,594百万円(前期比22.7%増)となりました。

(食品販売事業)

当第3四半期連結累計期間は、昨年8月に包括的業務提携を行ったノルウェー王国のHofseth International ASとの間のアトランティックサーモン事業が順調に伸展したことや、為替が円高傾向で推移したため輸入商材の収益環境が安定したことにより、減収ながら大幅増益となりました。また、回転率重視の商売に徹したため、在庫圧縮などの経費削減効果も増益に貢献いたしました。

水産品は、増収増益となりました。Hofseth International ASとの共同事業により、鮭鱒類が大幅な増収増益、エビとホッケは回転率重視の販売に取り組み、利益率が大きく改善して大幅増益となりました。一方、ホタテは一昨年冬に北海道地方を襲った爆弾低気圧により生産量が激減し、取扱量が大きく減少、サバも価格競争の激化と輸出環境の悪化により減収減益となりました。

畜産品は、減収減益となりました。チキンは国内の流通在庫が過剰となり相場下落が続く減収減益、ポークは取扱量を抑え回転率重視の販売により減収ながら増益となりました。

農産品は、減収増益となりました。主力商材の馬鈴薯は販売が好調で増収増益となりましたが、長芋が不作のため減収となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は93,590百万円(前期比3.1%減)、営業利益は1,254百万円(前期比59.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9,057百万円増加し、127,959百万円となりました。これは主に有形固定資産が7,080百万円、商品が1,475百万円、投資有価証券が934百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ7,949百万円増加し、64,529百万円となりました。これは主に借入金が8,541百万円増加したことや、支払手形及び買掛金が619百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,108百万円増加し、63,430百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加の4,108百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,207百万円の資金の増加(前年同四半期は674百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益4,490百万円、減価償却費3,087百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額1,467百万円、仕入債務の減少額619百万円及び法人税等の支払額1,527百万円などの資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,885百万円の資金の減少(前年同四半期は6,926百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出10,106百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,953百万円の資金の増加(前年同四半期は5,979百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額9,089百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,042百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、「平成27年9月期 決算短信」(平成27年11月13日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,887	4,108
受取手形及び売掛金	20,531	18,608
商品	18,718	20,194
繰延税金資産	539	268
その他	2,466	4,072
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	46,128	47,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,169	33,631
機械装置及び運搬具(純額)	6,496	6,181
土地	19,366	26,491
リース資産(純額)	283	257
建設仮勘定	2,695	2,478
その他(純額)	745	797
有形固定資産合計	62,756	69,837
無形固定資産		
のれん	483	407
その他	1,729	1,713
無形固定資産合計	2,212	2,120
投資その他の資産		
投資有価証券	6,859	7,794
長期貸付金	56	24
その他	1,001	1,055
貸倒引当金	△113	△113
投資その他の資産合計	7,804	8,761
固定資産合計	72,773	80,719
資産合計	118,901	127,959

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,028	5,409
短期借入金	16,331	17,421
1年内返済予定の長期借入金	3,298	4,355
リース債務	102	86
未払法人税等	844	623
賞与引当金	659	176
役員賞与引当金	27	16
その他	3,877	4,892
流動負債合計	31,171	32,982
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	6,997
長期借入金	16,160	22,555
リース債務	144	142
繰延税金負債	542	325
役員報酬BIP信託引当金	44	77
退職給付に係る負債	947	938
資産除去債務	105	105
その他	464	404
固定負債合計	25,408	31,546
負債合計	56,579	64,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,067
資本剰余金	11,132	11,134
利益剰余金	37,575	39,413
自己株式	△546	△538
株主資本合計	59,228	61,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,908	1,516
繰延ヘッジ損益	0	64
為替換算調整勘定	319	△13
退職給付に係る調整累計額	△125	△101
その他の包括利益累計額合計	2,102	1,465
非支配株主持分	991	888
純資産合計	62,322	63,430
負債純資産合計	118,901	127,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	114,552	112,336
売上原価	105,762	102,740
売上総利益	8,789	9,596
販売費及び一般管理費	5,738	5,380
営業利益	3,051	4,215
営業外収益		
受取利息	40	41
受取配当金	99	120
保険配当金	31	36
受取奨励金	31	—
固定資産売却益	0	—
受取和解金	—	85
補助金収入	—	87
その他	257	271
営業外収益合計	460	641
営業外費用		
支払利息	274	286
固定資産除売却損	11	—
その他	17	80
営業外費用合計	303	366
経常利益	3,207	4,490
税金等調整前四半期純利益	3,207	4,490
法人税、住民税及び事業税	946	1,270
法人税等調整額	183	328
法人税等合計	1,130	1,599
四半期純利益	2,077	2,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,048	2,880

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	2,077	2,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,460	△392
繰延ヘッジ損益	△34	64
為替換算調整勘定	593	△446
退職給付に係る調整額	22	24
その他の包括利益合計	2,041	△750
四半期包括利益	4,118	2,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,940	2,243
非支配株主に係る四半期包括利益	178	△102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,207	4,490
減価償却費	3,289	3,087
のれん償却額	87	76
賞与引当金の増減額(△は減少)	△516	△482
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△390	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
役員報酬BIP信託引当金の増減額(△は減少)	—	33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	△5
受取利息及び受取配当金	△139	△161
支払利息及び社債利息	274	286
売上債権の増減額(△は増加)	△113	1,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,422	△1,467
仕入債務の増減額(△は減少)	△728	△619
未払費用の増減額(△は減少)	864	△64
その他	△136	△1,185
小計	2,242	5,863
利息及び配当金の受取額	129	160
利息の支払額	△263	△289
法人税等の支払額	△1,434	△1,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	674	4,207
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,262	△10,106
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△39	△1,554
投資有価証券の売却による収入	—	7
貸付けによる支出	△860	△376
貸付金の回収による収入	286	193
その他	△51	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,926	△11,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,100	1,212
長期借入れによる収入	3,336	10,557
長期借入金の返済による支出	△2,322	△2,680
自己株式の処分による収入	299	—
自己株式の取得による支出	△300	△1
配当金の支払額	△1,038	△1,042
その他	△94	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,979	7,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	145	△54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△125	221
現金及び現金同等物の期首残高	4,431	3,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,305	4,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,974	96,553	24	114,552	—	114,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,471	—	33	1,505	△1,505	—
計	19,446	96,553	57	116,057	△1,505	114,552
セグメント利益	3,743	785	28	4,556	△1,505	3,051

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,505百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,701	93,590	44	112,336	—	112,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,288	—	32	1,321	△1,321	—
計	19,990	93,590	76	113,658	△1,321	112,336
セグメント利益	4,594	1,254	31	5,880	△1,664	4,215

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,664百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。